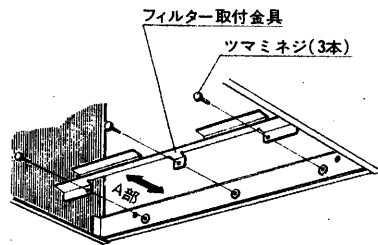


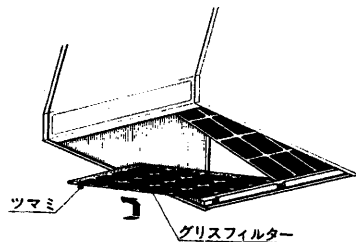
■ グリスフィルター(別売部品)の取付け

- グリスフィルターを取付けますとフード内および換気扇の汚れが少なくなります。

① フィルター取付金具をツマミネジ(3本)で取付けてください。



② グリスフィルターのツマミ(2箇所)を持ち、フィルター取付金具に差込み後部に押しながら、前側をフード内に差込んで2枚とも取付けます。



ご注意

- 換気扇の引きひもは、フィルター取付金具の矢印(A部)の部分を通してください。

■ お手入れのしかた

- 換気扇・グリスフィルターのお手入れはそれぞれの説明書を参照のうえ行なってください。
- お手入れの際は、換気扇の電源を切ってから行なってください。
- お手入れのときは、板金部品などの切口により手を切る場合がありますので、厚手の手袋を着用して行ってください。
- フードの内側・外側とも中性洗剤を含ませた布で汚れを落とし、その後乾いた布で水分をふき取ってください。

ご注意

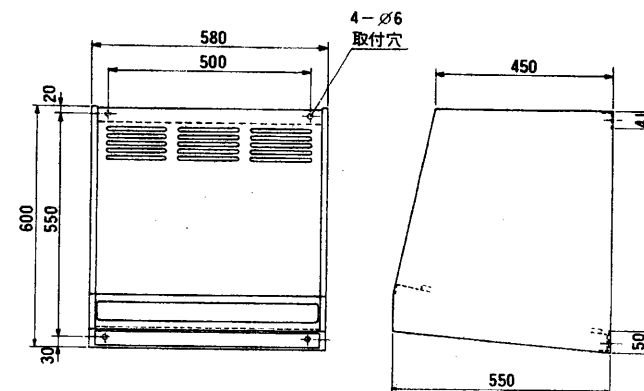
- 塗装面の清掃には次の薬品などは使用しないでください。色があせたりつやがなくなることがあります。
揮発性の溶剤(ガソリン・シンナー・アルコール・ベンジン・灯油など)、スプレー(整髪用・殺虫用)、化学ぞうきん、みがき砂、など。

三菱キッチンフード P-60H

取扱説明書

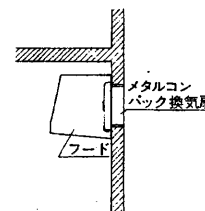
このキッチンフードは、調理によって発生する油煙などを拡散させる事なく捕集効率を上げるために使用するものです。

■ 外形寸法図

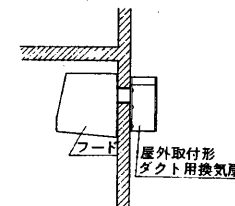


■ ご注意

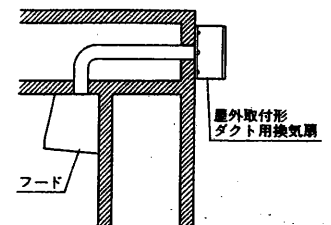
1. キッチンフードを取付けますとフード内部の温度が高くなりますので、必ずメタルコンパック換気扇・屋外取付ダクト用換気扇をご使用ください。



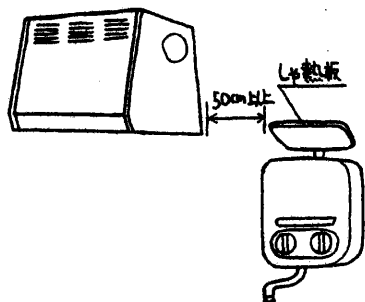
〈メタルコンパック換気扇の場合〉



〈屋外取付形ダクト用換気扇の場合〉



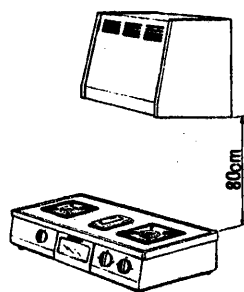
2. ガス湯沸器の真上には取付けないでください。必ず50cm以上離してください。



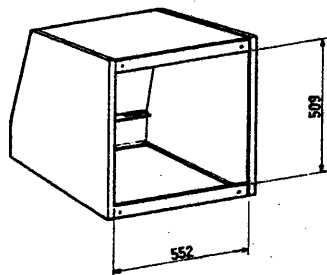
3. キッチンフードを取付ける壁面が合板など可燃性の場合には、フード内になる壁面に不燃材を張付けてください。なお、金属板を使用する場合換気扇との間を絶縁してください。

■ 取付方法

1. フード下面の高さをレンジから80cmの高さになるように位置を決めてください。

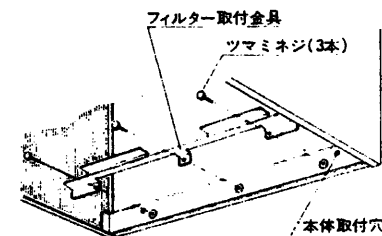


2. キッチンフードの背面はオープンになっていますが、4方に縁がありますので取付換気扇の油受けがのり上げないような位置にしてください。



4. レンジをご使用になる場合は、必ず換気扇を運転してください。運転させないとフード内の温度が上昇しモーター・コンデンサーなどの電気部品の絶縁物が劣化して漏電の原因及び、軸受部分の給油が不完全になり軸と軸受けの焼付きの原因となります。
5. レンジを空だきしますと、換気扇を運転していてもフード内が高温になり換気扇の故障の原因となります。

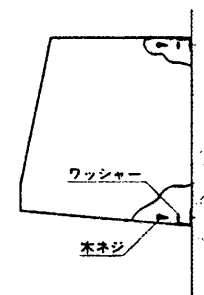
3. フィルター取付金具をツマミネジ（3本）を外し取外してください。



4. フード背面の取付穴（4箇所）を使用して木ネジとワッシャーで取付けるか、市販のアンカーボルト（M8）を埋込んで取付けてください。なお壁面が弱い場合は補強板を埋込んでください。

ご注意

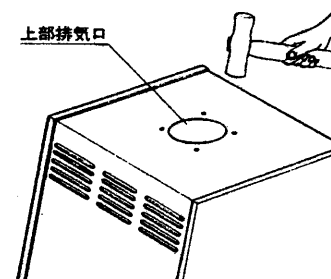
- 壁面に露出して補強板を取付ける場合は、フードと壁との間にすき間ができないように周囲にも補強板を取付けてください。



■ 上部排気口を使用する場合

- 屋外取付ダクト用換気扇または中間取付ダクトファンにより上部排気口を使用してダクト排気する場合。

- ① フード上面の丸形ロックアウトを手袋を着用してハンマーまたはドライバーの柄などで打抜いてください。



- ② 付属されているパッキンをダクト接続口に巻付けて上部排気口に取付けてください。

- ③ 接続ダクトはアルミスパイラルダクト・鋼板管のφ150（6番）管をご使用ください。

